

質疑・一般質問

の3月3日、4日、5日の本会議では、17人の議員が一般質問を行い、市の見解を求めました。追加提案された12日については、質疑がありましたが、議案の発議者と質問項目の内容は、4面から6面に掲載しています。なお、二次元コードを読み取ると本会議の録画映像を閲覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 中川 夏望** (市民の会)
①明石港東外港地区の再開発 ②医療的ケア児等に対する支援の拡充
- 宮坂 祐太** (明石かがやきネット)
①都市構造再編集集中支援事業
- 中村 茂雄** (明石維新の会)
①子どもの育ちのためのスポーツ活動及び小学生の体力向上 ②市政運営に関わる働き方
- 三好 宏** (自由民主党明石)
①地方独立行政法人明石市立市民病院の今後 ②明石市公設地方卸売市場に関する調査報告書と今後の在り方検討 ③野々池貯水池の跡地利用と林崎掘割水路の今後
- 国出 拓志** (公明党)
①市内の全小中学校の教室に内線機を設置しないか ②救急安心センター事業 (＃7119) ③市役所食堂
- 辻本 達也** (日本共産党)
①令和7年度施政方針 ②明石川のPFAS汚染 ③国民健康保険料率の引き上げ
- 中西 礼皇** (対話の会あかし)
①市民参画の取組 ②ごみの減量・リサイクルの取組
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
①手話言語・障害者コミュニケーション条例 ②旧優生保護法被害者支援条例に基づく取組の推進
- 黒田 智子** (市民の会)
①(仮称)「あかし版こども計画」の策定 ②就学前後のしんどさを楽にする取組 ③対話と共創の第2ステージに向けた具体的な取組
- 林 丸美** (明石かがやきネット)
①アートを生かしたまちづくり ②こどもの居場所・遊び場
- 正木 克幸** (明石維新の会)
①本市における産官学連動の医療体制の充実 ②本市技術職員の拡充及びOJT要素を含んだジョブローテーションの在り方
- 出雲 有希子** (自由民主党明石)
①パート・アルバイト職員の給与計算方法 ②ごみ減量化における本市のリサイクル・リユース ③上下水道事業
- 長尾 博子** (公明党)
①高齢者が地域で安全で安心して暮らせる取組
- 山下 祥** (市民の会)
①にぎわいのあるまちづくりに向けた新年度の取組
- 石井 宏法** (自由民主党明石)
①明石市の財政見直し ②環境と経済の好循環のまちづくり
- 飯田 伸子** (公明党)
①女性の活躍推進のためにさらなるデジタル人材の育成を ②「本のまち」推進の取組
- 金尾 良信** (市民の会)
①障害者が災害時に障害特性を踏まえた適切な支援を受けられるように ②住みなれた地域で安全安心に暮らせる環境づくり
- 3月12日質疑**
辻本 達也 (日本共産党)
◎議案第35号 明石市役所新庁舎建設工事請負契約のこと

中心市街地の南の拠点形成
明石港東外港地区の再開発
県と連携し にぎわい創出を

問 明石港東外港地区の再開発は、県との連携が不可欠だが、本市の

答 見解を問う。
県が策定した明石港東外港地区再開発計画は、本市の関連計画や市民意見を踏まえ、土地利用の基本的な方向性として、中心市街地の南の拠点を形成し、回遊性を高めることにより、中心市街地のさらなるにぎわい創出を図ることが示されている。市は、再開発計画の内容を基本に引



現庁舎跡地との一体的な土地利用を

令和7年度当初予算

限られた財源を創意工夫し

もっとやさしいまちづくりへ

問 令和7年度当初予算案に関連して示された今後の収支見込みによると、財政の持続可能性に懸念が残る。今後の財政見直しについて本市の見解を問う。

答 7年度当初予算案は、持続可能な財政運営を見据えながら必要な施

策を着実に推進するため、限られた財源を創意工夫して編成し、基金の確保や財政指標などは健全な水準を維持できると考えている。その後、11年度ごろまで赤字と黒字を繰り返す、長期的には歳入が歳入を上回ると見込

災害時の障害者支援
個別避難計画の作成により
障害特性に応じた支援へ

問 外見から障害があることが分かりにくい人が、災害時に障害特性を踏まえた適切な支援を受けられるよう平時の取り組みが大切と考える。市の見解は。

答 災害時は、市の公助はもとより、自分や家



希望者に要支援意思表示タオルを配布

問 特殊詐欺の防止対策について、自動録音電話機の購入補助事業の状況と市の取り組みは。

答 県補助金を活用した本事業は、希望する全ての世帯が補助を受けられるよう広報した結果、県内2位の2059件の申請があったが、県補助の終了に伴い本市も事業を終了し、継

特殊詐欺の防止対策
警察や金融機関と連携し
注意喚起システムを構築

問 特殊詐欺の防止対策について、自動録音電話機の購入補助事業の状況と市の取り組みは。

答 県補助金を活用した本事業は、希望する全ての世帯が補助を受けられるよう広報した結果、県内2位の2059件の申請があったが、県補助の終了に伴い本市も事業を終了し、継

問 本市のプロジェクトにおいて、都市構造再編集集中支援事業の活用による財政負担軽減額と今後の活用方針は。

答 本事業は、持続可能な都市構造への再構築

明石駅・西明石駅周辺プロジェクト
国の補助事業を活用し
財政負担の軽減を図る

を目指す人口減少社会に対応したコンパクトシティの実現のために策定する立地適正化計画に基づき、公共公益施設の整備などの取り組みに対し国が支援を

行ふ補助事業である。本市は令和5年に同計画を公表しており、現在プロジェクトを進めている明石駅周辺地区と西明石駅南地区は本事業の活用が可能である。同計画を策定しない場合に比べ、明石駅周辺地区で約2億6千万円、西明石駅南地区で約5億9千万円の財政負担の軽減が見込まれる。

今後、まちづくりに係るプロジェクトを進める際は、本事業の適用可否についてしっかりと検討し、財政負担の軽減を図っていく。

継続実施の予定はない。市は特殊詐欺の防止策として、犯罪の状況や手口、対策等をさまざまな媒体を通じて発信している。

令和7年度は、新たな取り組みとして、本市、明石警察署、市内金融機関が連携し、犯罪があった場合の早期対応策として、出金時に市内金融機関が利用者に注意喚起をするシステムの構築を調整しているところだ。

今後も高齢者をはじめ全ての市民が特殊詐欺を自分事として関心を持つよう啓発し、特殊詐欺被害の撲滅に向け取り組んでいく。